

令和4年12月
第9回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項
議 席 氏 名	
6 佐藤幸一	<p>1 清水公園池周囲の防護柵の設置について</p> <p>清水公園は町民の憩いの場として、またレクリエーション施設として町内外の方々に利用されている。</p> <p>来年からは帯広緑ヶ丘公園のボートが廃止されるとの報道もあり、新年度は今まで以上に利用が増える予想される。</p> <p>しかし、池周囲は防護柵が無く非常に危険な状態である。</p> <p>転落事故が発生しないよう防護柵の設置など安全対策を講じる必要があると考えるが町長の見解を伺う。</p> <p>2 公衆浴場の入浴料金の据え置きについて</p> <p>町営公衆浴場は、家に風呂のない方や高齢者の交流の場等として広く利用されている。</p> <p>北海道は去る9月に公衆浴場の統制額を改定し、10月から普通浴場の12歳以上の入浴料金の上限額を450円から480円にすることを施行した。</p> <p>町民は生活用品の物価高に苦しんでおり、更に入浴料金の値上げが実施されると益々大変な生活が余儀なくされる。</p> <p>この際、料金の値上げを先送りして町民の生活を守る考えはないか伺う。</p> <p>3 清水駅跨線橋対策について</p> <p>この件については何度も質問し、また提言も行ってきたが進展がみられず誠に残念である。</p> <p>高齢者や体の不自由な方々にとって、あの階段を上り下りすることが非常に大変なことであることは言うまでもない。</p> <p>JR北海道と協議し、打開策を見出して頂きたいと考えるが町長の見解を伺う。</p>

4 ビート生産枠9万トン削減問題について

農林水産省は去る11月2日、ビート生産者に支給する交付金の対象数量を現行の64万トンから段階的に削減し、2026年度に55万トンとする案を自民党の合同会議で示し、了承された。

ビートは寒冷地作物として輪作体系に位置付けられているほか、ホクレン製糖工場が立地する本町にとっては、工場の存続が危惧される。

この問題に対して、町を挙げて生産枠削減反対運動に取り組むべきと考えるが町長の見解を伺う。

5 清水高等学校の3間口維持について

清水高等学校の通学生に通学費補助を行なうことについて改めて考えを伺う。

- (1) 通学費補助を行なっている自治体を見てもその効果があがっていないと答弁されたが、どこの事例なのか。
- (2) 本町から他町への通学生にも補助しないと不均衡になると言われたが、清水高等学校存続のための補助であり、現在行なっている各種取得支援と同様に考えられないか。

質 問 者		質 問 事 項
議 席 氏 名		
3	山 下 清 美	<p>1 ひきこもりの悩み解決策について</p> <p>令和元年12月の一般質問で、ひきこもりの実態調査を実施すべく、来年度において既に調査を実施した町村の調査内容や手法について、調査研究してまいりたいと考えておりますと、町長から答弁があった。</p> <p>また、令和元年10月開催のひきこもり研修会では、あくまでも内閣府の推計であるが、本町におけるひきこもり状態は77.4人と推計されるとのこと。</p> <p>また、道内で実態調査をしているのは3自治体あり、「実態が分からなければ、対策もたてられない。」と話されている。</p> <p>そこで、ひきこもりの実態調査を行い、ひきこもりの方々の悩みの解決に向けて二期目を迎えた町長の考えを伺う。</p> <p>2 障がい者等就労支援策について</p> <p>清水町では、きずな園や教育委員会への臨床心理士の配置など、幼少期から義務教育まで一貫して子どもたちを支え見守っている。</p> <p>しかし、義務教育卒業後はなかなか社会になじめない方もいるが、そのような方でも個々に配慮すれば就労可能な方もいる。</p> <p>そこで、障がい者の方や配慮が必要な方が町内で就労や社会参加につなげる仕組みが必要と思うが、町長の考えを伺う。</p>

質 問 者	質 問 事 項	
議 席 氏 名		
4	中河つる子	<p>1 新型コロナウイルス感染者が急増する中での町としての対応について</p> <p>十勝管内では、11月15日でコロナ累計感染者が延べ6万人を超えた。11月に入ってから1日300人以上の日が続いて、今もそれほど減ってはいない。</p> <p>また、インフルエンザとの同時流行も懸念される。</p> <p>清水町でも、身近で感染したとの話も聞くようになったが、自分で検査ができる抗原検査キットを御影地域では購入できる店はない。</p> <p>(1) 新型コロナの抗原検査キットを無料で必要な人に配布してはどうか。</p> <p>(2) 町で、町民の不安や疑問を解消するために、新型コロナ感染症についての相談を受ける窓口を周知してはどうか。</p>

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
5	鈴木孝寿	<p>1 体育館建設の基本構想・計画の在り方について</p> <p>体育館建設における2年程度の先送りは英断として高く評価するが、基本構想・計画は今後2年間の空白を作ることなく、継続して町民検討会議で協議し、まちづくりに繋がる新体育館としての位置づけを考える前向きな期間と考える。教育委員会だけではなく、企画課を含め、町全体で考える必要があると思うが、町長の考えを伺う。</p> <p>2 Jアラートへの町の対応について</p> <p>先般、隣国からのミサイル発射のJアラートが早朝に発表された。その時間は子ども達の通学時間でもあり、この場合の児童・生徒の安全確保については、どのように対応しているのか。清水町として情報弱者への基本的な考えを伺う。</p> <p>(1) 学校のJアラートへの指示や対応について (2) 歩いている児童・生徒を保護することは問題ないか (3) 子ども110番の家との連携状況 (4) 保護者の理解について</p> <p>3 防犯対策について</p> <p>公共施設における防犯カメラの設置状況は、個人情報の問題もあり、特に町の施設では設置が進んでいない現状がある。防犯カメラの管理・運用に対する指針を策定し、事件・事故を未然に防ぐ観点から早急な整備が必要と考えるが、町長の考えを伺う。</p>	

質 問 者		質 問 事 項
議 席	氏 名	
1	深 沼 達 生	<p>1 厳しい農業情勢への対応について</p> <p>今年に入り肥料や飼料の高騰に加え、資材や燃料などすべての部分で値上がりしている状況の中で、今の酪農はコロナの影響によりチーズやバターなどの需要が減り、そこに牛乳の生産調整をされたことにより牛の価格が暴落し八方ふさがりの状況になっていると思われる。</p> <p>畑作については、ビート、小麦、大豆の畑作物直接支払交付金が下げられ、ビート生産枠は今の64万トンから2026年までに9万トン削減されることになり、輪作体系が崩れる可能性がある。</p> <p>コストを下げるにしても限度があり、畑作や酪農の経営状態は来年の方が悪化すると思われる。</p> <p>そこで町の考えを伺う。</p> <p>(1) 来年度の肥料高騰による助成の考えは。</p> <p>(2) 経営悪化による金利の助成の考えは。</p> <p>(3) 新規就農で酪農をやっている方々の現状を把握しているか。</p>

質 議	問 席	者 氏	名	質 問 事 項
2	川 上	均		<p>1 公衆浴場入浴料金の引き下げ及び負担軽減による利用者拡大の取り組み</p> <p>公衆浴場入浴料金改定の条例案が出ているが、物価統制令は上限価格の設定であり、物価や燃料等の高騰が町民生活を直撃している今だからこそ入浴料金を引き下げ、併せて負担軽減策導入による利用者拡大について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 小人（6歳未満）及び75歳以上高齢者の入浴料無料化 (2) 半年券、1年券の導入</p> <p>2 消防職員の定数不足による町民生活への影響と今後の対応</p> <p>総務産業常任委員会の調査によりとまち広域消防事務組合の組合基準に係る人員配置において、清水消防署は令和4年度現在組合基準31人に対し28人の3人減となっており、救急出動を中心に職員の多大な負担増が危惧されている。現状における火災出動や救助出動は芽室町に匹敵、警戒出動・救助支援出動は芽室町、新得町、鹿追町より多いなど、今後冬季に入り増々救急出動が予想される中で、町民の命を守る要である消防職員の定数充足は不可欠であり、現状認識と今後の対応について町長の考えを伺う。</p> <p>3 会計年度任用職員の処遇改善の推進</p> <p>令和2年4月施行された会計年度任用職員制度により、非正規職員の処遇は一定程度改善されたが、正職員との格差は依然開いたままである。処遇改善による住民サービスの向上と「同一労働同一賃金」の原則からも、今後の会計年度職員の処遇改善について町長の考えを伺う。</p>